

JIS

潤滑油－泡立ち試験方法

JIS K 2518 : 2017

(JALOS)

平成 29 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千 葉 光 一	関西学院大学
(委員)	今 井 勇	一般社団法人日本ゴム工業会
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	小 川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会
	小 森 亨 一	一般社団法人日本分析機器工業会
	斉 藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和 広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	中 島 眞 理	株式会社ブリヂストン
	中 村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野 中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	保 倉 明 子	東京電機大学
	松 永 直 樹	拓殖大学
	三 浦 安 史	石油連盟
	森 川 淳 子	東京工業大学
	山 崎 初 美	主婦連合会
	山 田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 34.2.27 改正：平成 29.4.20

官 報 公 示：平成 29.4.20

原 案 作 成 者：一般社団法人潤滑油協会

(〒273-0015 千葉県船橋市日の出 2-16-1 TEL 047-433-5181)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験の原理	4
5 試薬	5
6 試験器及び器具	5
7 試料の採取方法及び調製方法	9
8 試験器の準備	9
9 試験の手順	10
9.1 泡立ち度及び泡安定度の測定	10
9.2 試料の均質化（オプション A）	11
10 結果の表し方	11
11 精度	12
12 試験結果の報告	13
附属書 A（規定）ディフューザの最大孔径及び通気性の測定方法	14
附属書 JA（参考）潤滑油の高温泡立ち試験方法	17
附属書 JB（参考）JIS と対応国際規格との対比表	23
解 説	26

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人潤滑油協会（JALOS）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 2518:2003** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

潤滑油—泡立ち試験方法

Lubricating oils—Determination of foaming characteristics

序文

この規格は、1998年に第1版として発行されたISO 6247を基とし、国内の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、規定温度における潤滑油の泡立ち度及び泡安定度を試験する方法について規定する。安定な泡まつを作る傾向を抑制するための添加剤（以下、消泡剤という。）を含む潤滑剤にも、このような消泡剤を含まない潤滑剤にも適用できる。また、150℃における潤滑油の泡立ち特性を、測定する手順について附属書JAに示す。

注記1 泡成ちは、潤滑不良、キャビテーション、オーバーフローによる潤滑剤の損失などを引き起こし、装置の機械的故障につながることもある。この方法で得られた結果は、それらの問題を検討するための指標として用いることができる。

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 6247:1998, Petroleum products—Determination of foaming characteristics of lubricating oils (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格は、危険な試薬、操作及び試験器を用いることがあるが、安全な使用方法を全て規定しているわけではないので、この試験方法を適用する者は試験に先立って、適切な安全上及び健康上の禁止事項を決めておかなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7410 石油類試験用ガラス製温度計

JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水

JIS K 2251 原油及び石油製品—試料採取方法

JIS K 8034 アセトン（試薬）

注記 対応国際規格：ISO 6353-2, Reagents for chemical analysis—Part 2: Specifications—First series